

北陸圏広域地方計画の策定について

平成19年2月23日
国土交通省北陸地方整備局
国土交通省北陸信越運輸局

1. 策定の考え方

<「北陸圏広域地方計画」の役割と策定の視点>

今後の北陸圏形成の基本的な計画として、圏域のあり方(かたち)と戦略(道すじ)を構築

- 全国計画と一体となって国土形成計画を構成
- 北陸ブロックの多様な主体が協働で協議・策定
- 社会資本、産業活性化、人材育成、地域システム等多彩なテーマを論議
- グローバル社会から生活やライフスタイルまで幅広い視点で計画を策定

「全国計画」と連動しつつ、北陸圏の自立的発展を実現する、独自の圏域形成計画を構築。

<「北陸圏広域地方計画」の構成イメージ>

全国計画を参考としつつ、北陸圏の特性や独自性をふまえた課題整理と計画策定を行う。

<全国計画ー計画部会中間とりまとめーの構成>

1. 時代の潮流と国土政策上の課題(課題の明確化)

2. 新しい国土像(めざすべき国土のあり方・方向)

3. 計画のねらいと戦略的取組
(国土像の実現のための戦略と方策)

4. 計画の実現に向けて
5. 国土利用計画の策定(今後の進め方)

共通課題
+
独自課題

国土の一員
+
自立的発展

他の圏域との連携
+
独自資源の活用

北陸独自の
推進体制

<北陸圏広域地方計画の構成(イメージ)>

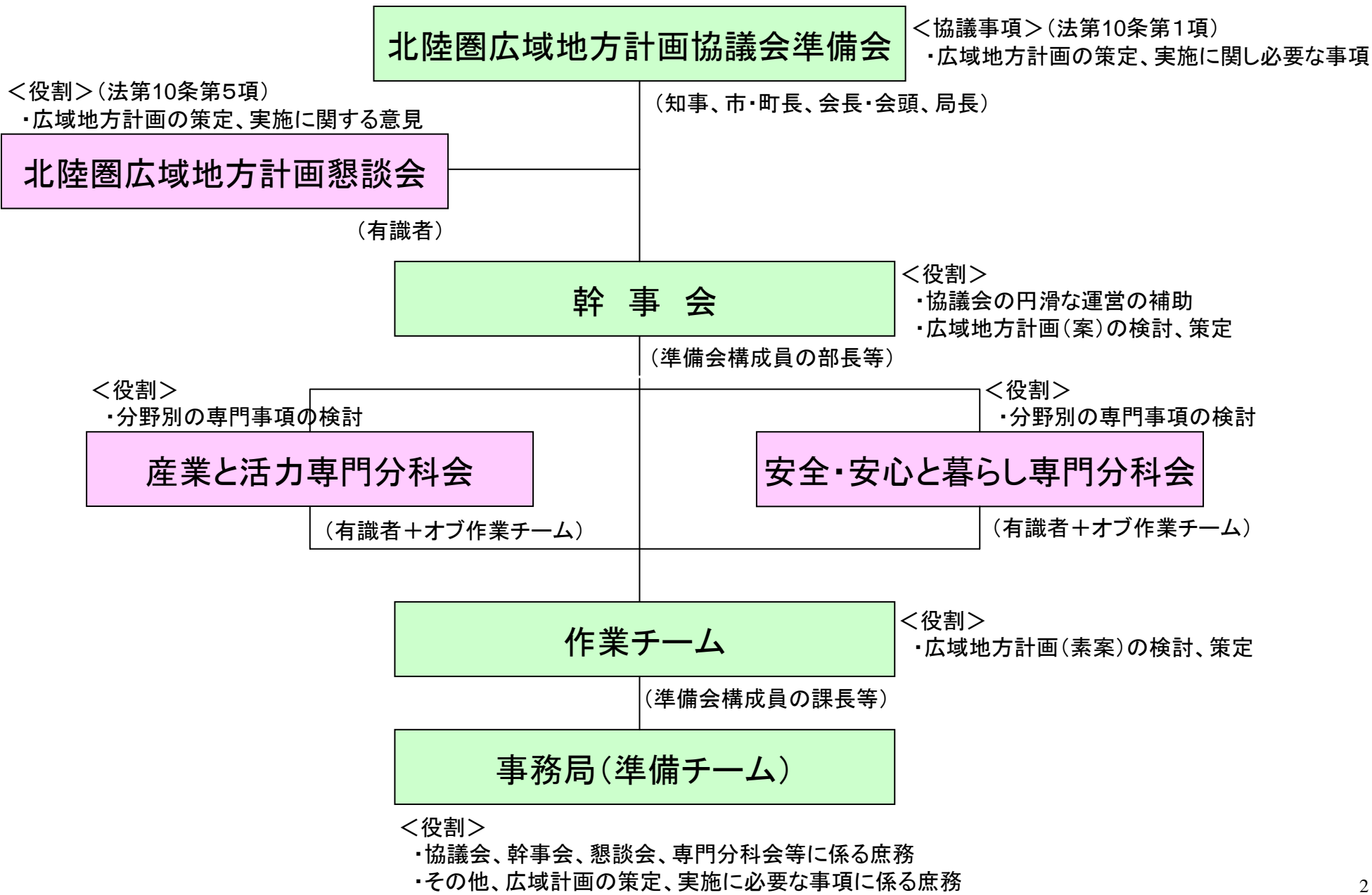
1. 北陸圏をとりまく潮流と圏域の課題
(北陸圏の課題の明確化)

2. 新しい北陸像(めざすべき圏域のあり方・方向)

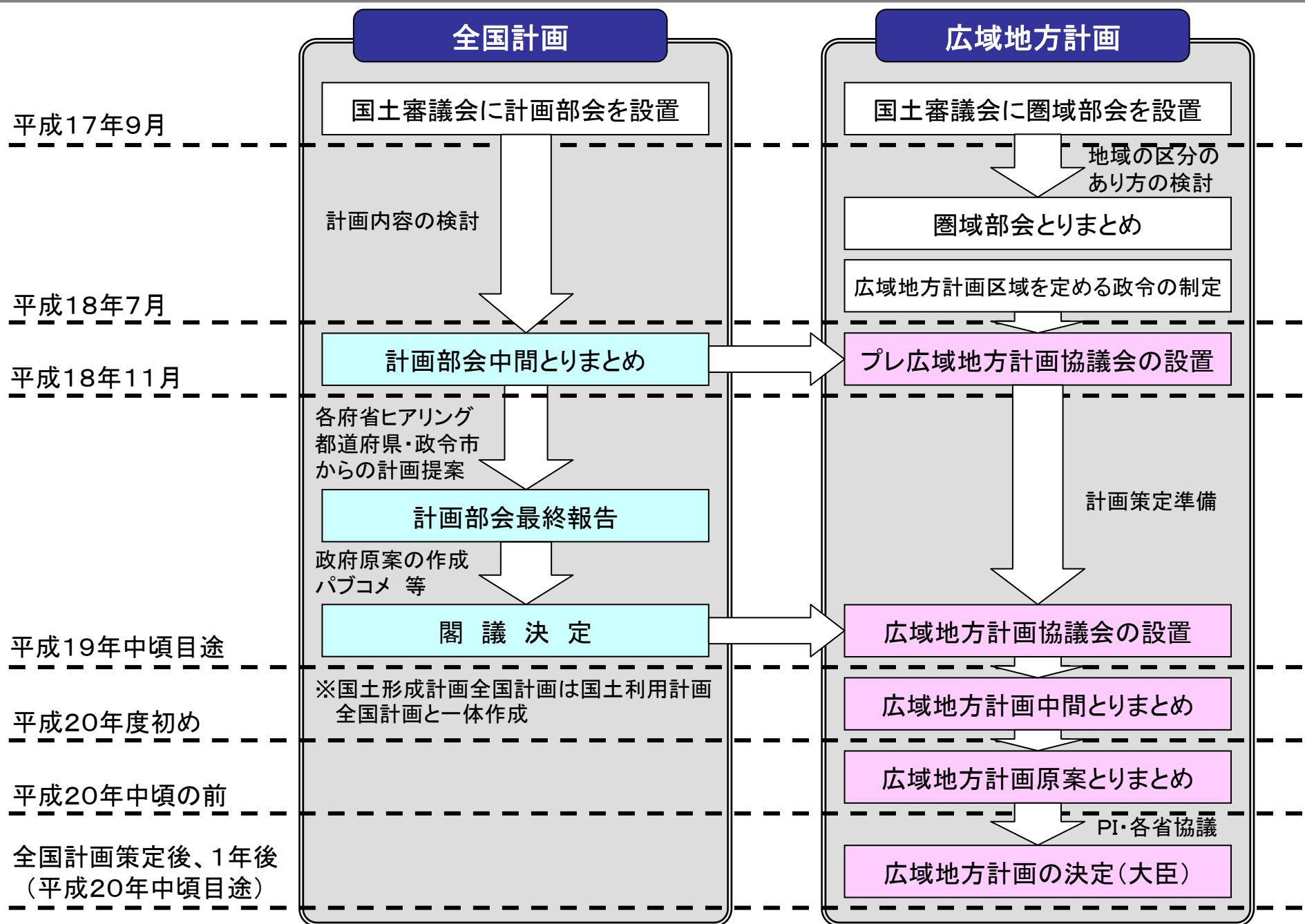
3. 北陸圏の戦略と圏域形成計画
(実現のための戦略と方策)

4. 計画の実現に向けて

2. 策定体制



3. 策定スケジュール(予定)



4. 産業と活力専門分科会の役割・検討事項と北陸圏広域地方計画策定の流れ

産業と活力専門分科会では、北陸地方のロケーションや資源を活かしながら、経済・産業、観光・文化など多様な交流活動を通じて活力ある地域づくりを進めていく観点から、北陸圏広域地方計画に関する専門の事項を検討する。具体的には、北陸圏の現状をふまえて、方向性(将来像)と課題、及び施策アイデア等の検討を行い、検討結果は、「北陸圏広域地方計画」に適宜反映していく。

〈北陸圏広域地方計画〉

〈全国計画〉

H19年2月～

専門分科会における検討事項(計画の骨格となる事項の検討)

- ①それぞれの分野における北陸圏の現状整理・分析(問題点、資源や可能性等の明確化)
- ②それぞれの分野における北陸圏の方向性・あるべき姿の設定(目指すべき将来像の明確化)
- ③将来像の実現に向けての北陸圏の課題の整理(必要な取り組みや目標の明確化)
- ④課題達成のための連携プロジェクト等具体的方策の提案(自由なアイデアの提案)

→事務局が2つの専門分科会の検討結果を「北陸圏の地域づくりのあり方と課題(実現方策を含む)」として一つに統合・集約。懇談会や協議会で検討を行う。

国土審議会
における
検討

H19年夏

「北陸圏の地域づくりのあり方と課題(実現方策を含む)」とりまとめ

「全国計画」の閣議決定

「北陸圏広域地方計画(原案)」の策定

「北陸圏の地域づくりのあり方と課題(実現方策を含む)」を基調・指針として、具体的な施策について体系的に検討・集約し、計画を策定。(専門分科会の施策アイデア・提言等を反映)

→事務局が素案をとりまとめ、懇談会、協議会等で検討

参考・参照

H20年夏

「北陸圏広域地方計画」のとりまとめ ⇒ 国土交通大臣が決定

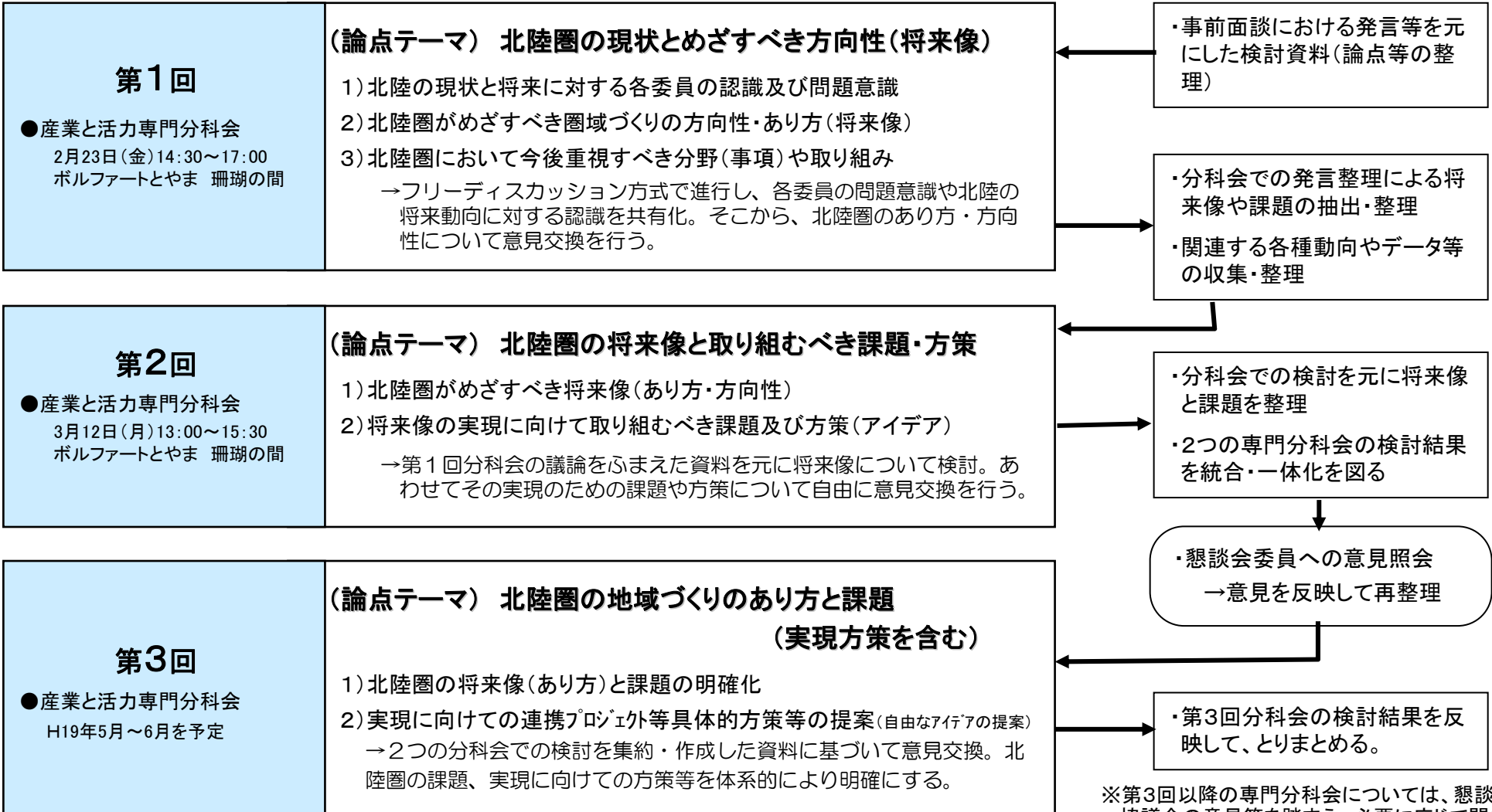
PI・各省協議

5. 専門分科会の展開イメージ

専門分科会は各3回程度の開催として、各回の検討テーマ・目標を明確にして開催する。
 また事前に関連資料を送付するなどにより、限られた時間で効率的に議論を進める。

〈各回の展開イメージ〉

〈整理・集約〉



※第3回以降の専門分科会については、懇談会、協議会の意見等を踏まえ、必要に応じて開催。